

## 山行報告書

<b>日時</b>	2019年7月14日(日)	<b>天候</b>	雨
<b>山名</b>	脊梁山地 天主谷		
<b>CL</b>	<b>参加者</b>	katsu、しんいち	
(コース)	7/14 08:10 - 16:45 鴨猪川 (沢での安全管理、コンテニアンズ、フィックスロープ、確保理論、滝の処理など)		
(コメント)	<p>今回は初めての沢登りでした。</p> <p>前日から雨で中止になると思っていたのですが、決行とのこと少し驚き、正直今回あまり気が進みませんでした。理由としては装備が痛むこと、ブヨ、虻が苦手なこと、完全装備では無いことと雨です。初めてなので代替で100均に行ったりホームセンターや作業着ショップへ行ったりしました。ウェブで代替えを検索したりもして専用の装備以外で安価に済ませる様頑張りました。なんせ沢は登山学校だけで終わるかもしれないからです。</p> <p>登山学校当日、生徒のほとんどが沢登りの経験がある方ばかりでした。雨の中林道を登ること1時間あまり、途中林道が崩れて道が塞がった所でのロープワークの実践講習、未経験の私は感心するばかりです。コンテニアンズの練習、横移動の時のロープワーク支点構築の方法など机上では簡単に理解できない事を教えていただき、感覚的に理解できたと思います。あとは実践で覚える事が重要だと感じました。覚えの悪い生徒で申し訳ないです。</p> <p>もちろん絶対転ばない事、浮石は踏まない事、三点支持厳守、声出し、助け合い、見守りスイッチ、ON!とは言いつつも講師の皆さんにはいつも以上に緊張感があり、絶対怪我はさせない様細心の注意を払っていただきました。沢未経験の私がこんな体験を出来る事が感動です。普段地図とコンパスは必ず持って山に入りますが、GPSに頼り一度も地図を見ないで下山する事が多くなり、地図読みも大事ですね。高度計も低山や登山道ではあまり必要とはしていませんでしたが、登山道以外では重要だと感じました。</p> <p>終わってみると、今回も覚える事が多く沢登りの楽しさも教えて頂き感謝、次の沢が待ち遠しい限りです。 (katsu)</p> <p>大雨が予想されるなか、サブのサブの計画まで練って準備して頂き、安全に山行を実施されたことは驚きでした。最終的に比較的優しい初級者用の沢にして頂きましたが、それでも水量が多く、装備も万全ではない受講生も多いなか、装備のチェック、行動に対する見守りなど安全への十分な配慮は今後リーダーとなる際に大変勉強になるものでした。</p> <p>今回私にとって最も勉強になったこととして、まず、上部でのピレーの時間短縮のために、ATCガイドや半マストによる確保は時間がかかるため、肩がらみを多用していました。この際、被確保者の落下した際に備えて常にテンションをかけながら確保することが重要であることを学びました。次に、川の渡渉の終了点で木へに直接ロープをかけて固定されており、初めてみる方法でしたが、時間短縮には有効であることを学びました。また、途中の支点を最後から2番目の方がマスト結びを解除することによって、最後の方を適切にピレーすることが可能であることも知りました。その他、今まで店員に勧められるがままに、フェルトの沢靴を使っていましたが、ゴム靴と大きな差がないこと、沢を抜けた際に履き替える必要がないためにゴム靴の方が良いことも知りました。</p> <p>今回も今までと同様、色々な技術を知ることができました。講師の方々の技術に少しでも近づけるよう、繰り返し練習と経験を積んでゆきたいと思います。この後の講習も益々楽しみになってきました。 (しんいち)</p>		
<b>費用概算</b>	(交通費/人) (その他/人)		

(2016.01.27改訂)